

管 区 事 務 所
〒162-0805
東京都新宿区矢来町65番
電話 (03)5228-3171
FAX (03)5228-3175

日 本 聖 公 会

NIPPON SEI KO KAI

PROVINCIAL OFFICE
65, Yarai-cho, Shinjuku-ku
Tokyo 162-0805, Japan
Tel. 81-3-5228-3171
Fax. 81-3-5228-3175

内閣総理大臣 福田康夫様
外務大臣 高村正彦様
防衛大臣 石破茂様

米国大統領 ジョージ・W・ブッシュ様
駐日米国大使 ジョン・トーマス・シーファー様
在日米軍司令官 ブルース・A・ライト様

在沖縄米国海兵隊員による女子中学生への性的暴力に強く抗議します

2008年2月19日

2008年2月10日沖縄県北谷町において、在沖縄米海兵隊キャンプ・コートニー通信隊所属の2曹による14歳の少女への性的暴力事件が起こりました。私たちは、被害にあった少女の耐え難い悲しみと深い傷を思い、激しい怒りをもって抗議します。

軍隊という組織は、人を人とは見なさず、ためらいなく殺すことを目的とし、軍事基地はそれを日々訓練する暴力の装置です。軍事基地がある限り、市民の日常生活は直接間接的に脅かされ、中でも一番の犠牲となるのが女性と子どもたちです。兵士たちの性暴力の被害にあいながらも声をあげることもできず、今もなお心身の痛みをかかえながら生きている女性や子どもたちがどれだけ多くいることでしょう。

わたしたちは、人間の尊厳を踏みにじることは、神の創造を傷つける罪であると信じる立場から、女性に対するあらゆる暴力を許すことはできません。一人の少女が受けた暴力はすべての女性への脅威と痛みであることを表明します。在日米軍基地の75%が沖縄に集中していることを忘れることなく、沖縄の女性たちの思いに連なるものとなることを願いながら、わたしたちは日米両政府に以下のことを求めます。

- 1 被害者への謝罪と補償が適切になされること
- 2 加害者を日本の司法により裁き処罰すること
- 3 被害者の自己責任を意味するような言説を許さないことを日本政府は明言し、被害者とその家族を守るためあらゆる手段を講じること
- 4 日米軍事同盟による日米地位協定を見直し、米軍基地を日本から可能な限り速やかに撤退させること

日本聖公会正義と平和委員会 委員長 主教 谷 昌二

日本聖公会正義と平和委員会

ジェンダープロジェクト 代表 大岡左代子

女性に関する課題の担当者 司祭 山野繁子 木川田道子